

## 協働事業、ひと・まちづくり助成事業の審査

## (審査の方法)

## 1. 選考における基本的なスタンス

協働事業や助成事業は、市民公益活動の活性化を目指すものであり、出来るだけ多くの事業を実施します。

「こうすると事業がよりよくなるのではないか」というように、アドバイスする姿勢で審査します。

## 2. 選考審査の進め方

## (1) 審査の流れ

申請者のプレゼンテーション	質疑応答	申請者退室
審査	選考 意見交換	付帯意見整理

## (2) 選考方法

申請書類やプレゼンテーションをもとに、審査基準の項目毎に、条件を満たしている場合を〇として、〇の数を点数(〇1つを1点)とします。

実施事業の審査・・・一定の点数以上を選考します。

「一定の点数」は、半数以上を目安として、“〇が5割を超える”とします。

市提案型協働事業において、複数の団体から申請があった場合は、〇の数が5割以上の団体のうち、最も点数の高い者を選考します。

か否かというシンプルな評価方法にすることにより次のような効果があると考えます。

判定が2択であるため判定しやすい。

採択した事業の場合、〇が少ない項目については、“事業を実施する際の留意点・改善点”としてアドバイスすることができる。

## (審査の基準)

別紙のとおり

## 選考審査シート（「市民提案型」協働事業）

「適合している」「満たしている」・・・判定欄に“ ”

「適合していない」「満たしていない」・・・判定欄に“ × ”

申請事業名		申請者	
-------	--	-----	--

	項目	ポイント	判定
	目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容は制度の趣旨に合致しているか。</li> <li>・ 提案内容の目的・課題は明確で適切か。</li> </ul>	
	解決手法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容は課題解決の手法として合理的か。</li> <li>・ 提案内容は独創的なアイデアか。</li> <li>・ 提案内容は市内においてあまり見られない取り組みか。</li> </ul>	
	まちづくりへの寄与	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容は千歳のまちづくりにおける課題の解決や住み良いまちの実現につながるか。</li> </ul>	
	協働性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案者と市との役割分担は明確で適切か。</li> <li>・ 協働で行うことにより相乗効果が期待できるか。</li> </ul>	
	公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公のお金を活用するのにふさわしい取り組みか。</li> <li>・ 対象が特定の個人や団体に限定されていないか。</li> <li>・ 広く市民に開かれ、地域や社会に貢献する取り組みか。</li> </ul>	
	計画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スケジュールが具体的で現実的であるか。</li> <li>・ 専門的な知識や経験を活用して事業を実施する計画になっているか。</li> </ul>	
	提案・応募者の実施能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業を実施することができる能力や実績があるか。</li> <li>・ 事業を実施する意気込みが感じられるか。</li> <li>・ 団体として自立しているか。（組織体制、活動年数、構成員数、年間予算）</li> </ul>	
	事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の実施により大きな効果が見込めるか。</li> <li>・ 出来るだけ効果を大きくする工夫を試みようとしているか。</li> </ul>	
	発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の実施を通じて、団体活動の発展が期待できるか。</li> </ul>	
	予算規模の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の内容や効果に見合った予算規模となっているか。</li> </ul>	
点数合計（ の数）			

## 選考審査シート（ひと・まちづくり助成事業）

「適合している」「満たしている」・・・判定欄に“ ”  
 「適合していない」「満たしていない」・・・判定欄に“ × ”

申請事業名		申請者	
-------	--	-----	--

項目	ポイント	判定
目的・効果 明確、適切	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容の目的は、明確で適切か。</li> <li>・ 提案内容は、制度の趣旨に合う効果が期待できるか。</li> </ul>	
手法 独創性、先進性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容は、独創的なアイデアか。</li> <li>・ 提案内容は、市内においてあまり見られない取り組みか。</li> </ul>	
計画内容 具体性、工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画内容（スケジュール、進め方など）が具体的で現実的であるか。</li> <li>・ できるだけ効果を大きくする工夫を試みようとしているか。</li> </ul>	
提案者の実施能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業を実施することができる能力や実績（専門的な知識や経験、組織体制、活動年数、年間予算など）があるか。</li> <li>・ 事業を実施する意気込みが感じられるか。</li> </ul>	
安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の実施にあたって、十分な安全対策は行われているか。</li> </ul>	
予算規模の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の内容や効果に見合った予算規模となっているか。</li> </ul>	
発展性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の実施を通じて、団体活動の発展が期待できるか。</li> <li>・ 助成期間終了後も、自主的な事業の継続が期待できるか。</li> </ul>	
公益性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公のお金を活用するのにふさわしい取り組みか。</li> <li>・ 対象が特定の個人や団体に限定されていないか。</li> <li>・ 広く市民に開かれ、地域や社会に貢献する取り組みか。</li> </ul>	
合計点数（ の数）		